

外皮の外の家

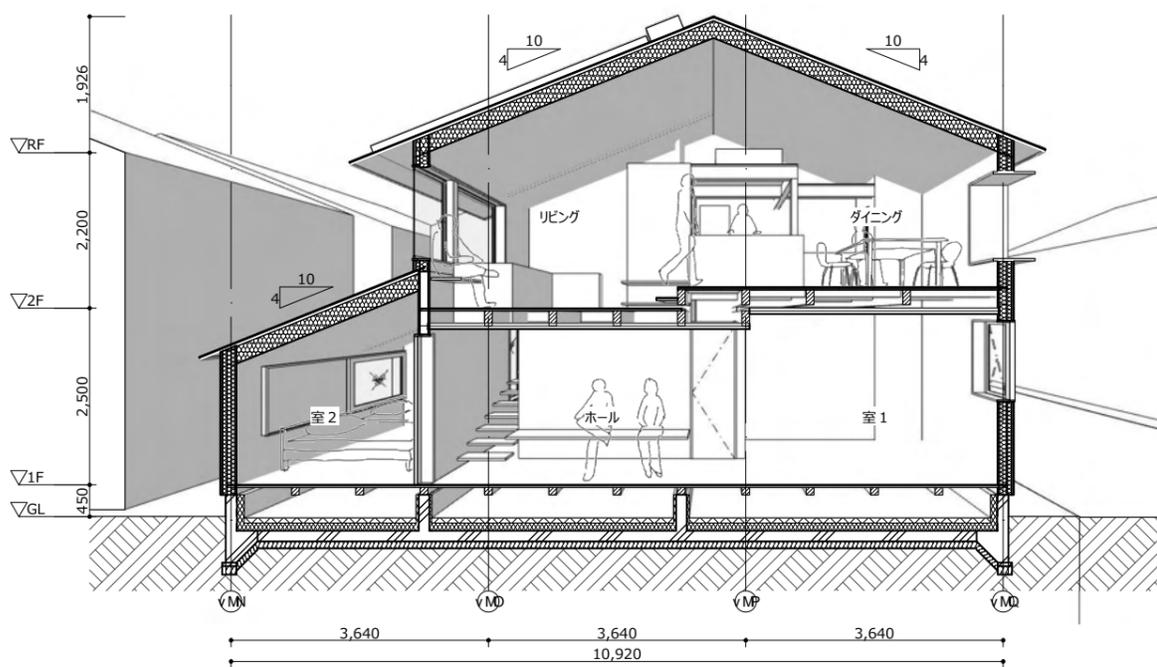
■高性能住宅のジレンマ
 温熱的な快適さを求めて外皮性能を高めるほど、窓は小さくなりがちだ。私たちに精神的な豊かさをもたらしてくれる「外の世界」も遠ざかってゆく。冬も夏も快適で、しかも外界も存分に感じられる家をつくるにはどうすれば良いか。

■金沢の「風除室」
 私達が拠点を置く金沢は冬の積雪も多く、住まいには高い断熱性が求められるが、昔ながらの住宅には「風除室」が付属していることが多い。全面ガラス張りですべて断熱の風除室では到底生活できないが、風が吹き込まず、明るくて、鉢植えの植物もわんさと置かれ、中間期は居心地よさそうでもある。

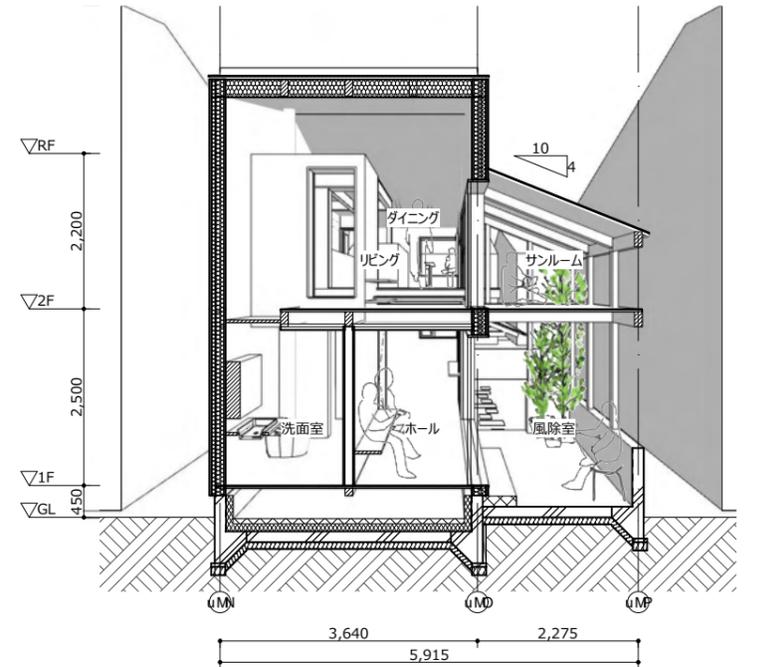
■「外皮の外」の可能性
 風除室に限らずサンルームや温室、吹きさらし空間で言えば軒下やアーケード、ポルティコ、バルコニーなど、外皮の外の空間＝非断熱の中間領域には外界に近い気持ちよさがある。日常生活は断熱された「外皮の内」で過ごしつつ、適時「外皮の外」に暮らしの舞台を拡張できるような家がつくれないうか。

■北向き狭小地で考える「豊かさ」
 区画Bは、北向きの狭小地という条件を踏まえると土地単価は値ごろで市場流通も多いはずである。こうした土地でも豊かに暮らせる建築の原型を示したい。南側に庭をとっても隣家の影となるため、建築を西に寄せ、東側にできるかぎりの庭をとって、この庭と建築を様々に関係づける。

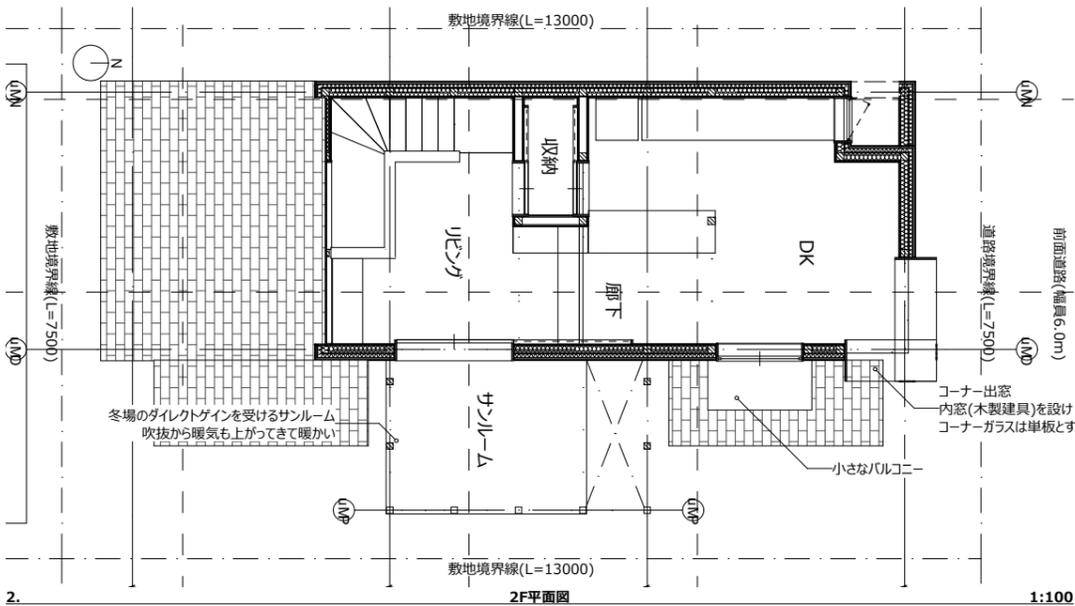
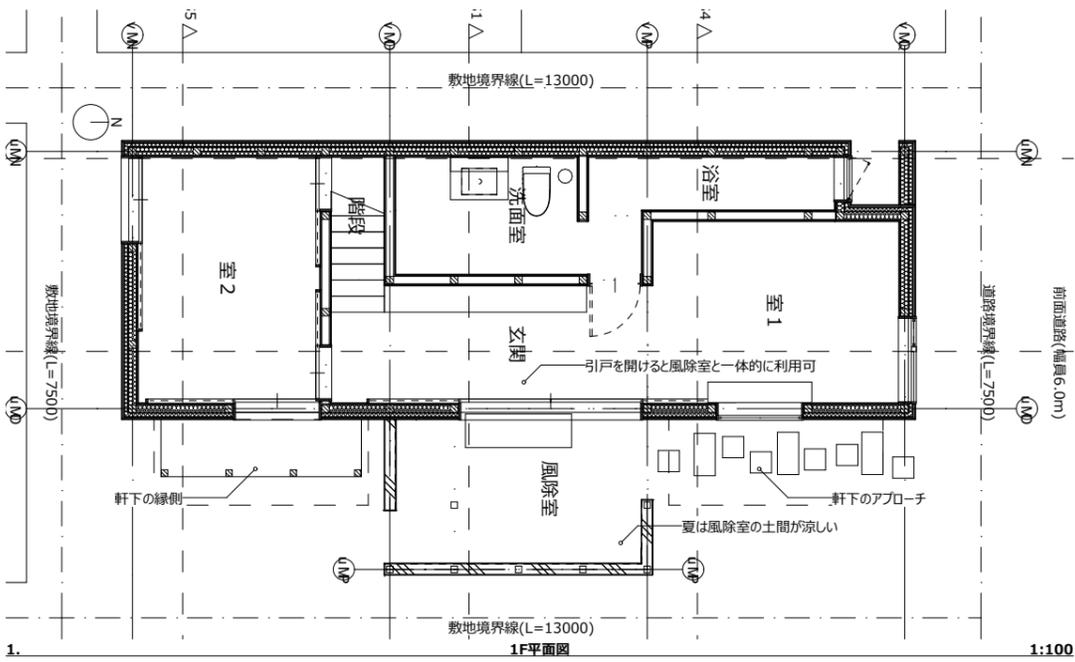
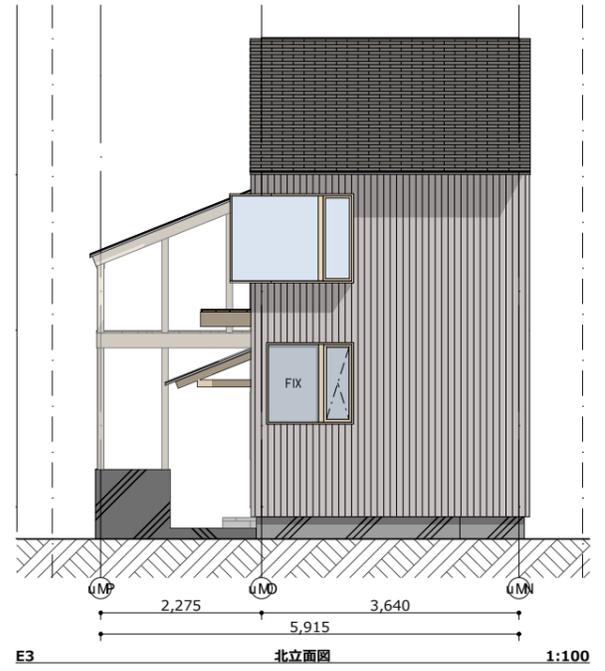
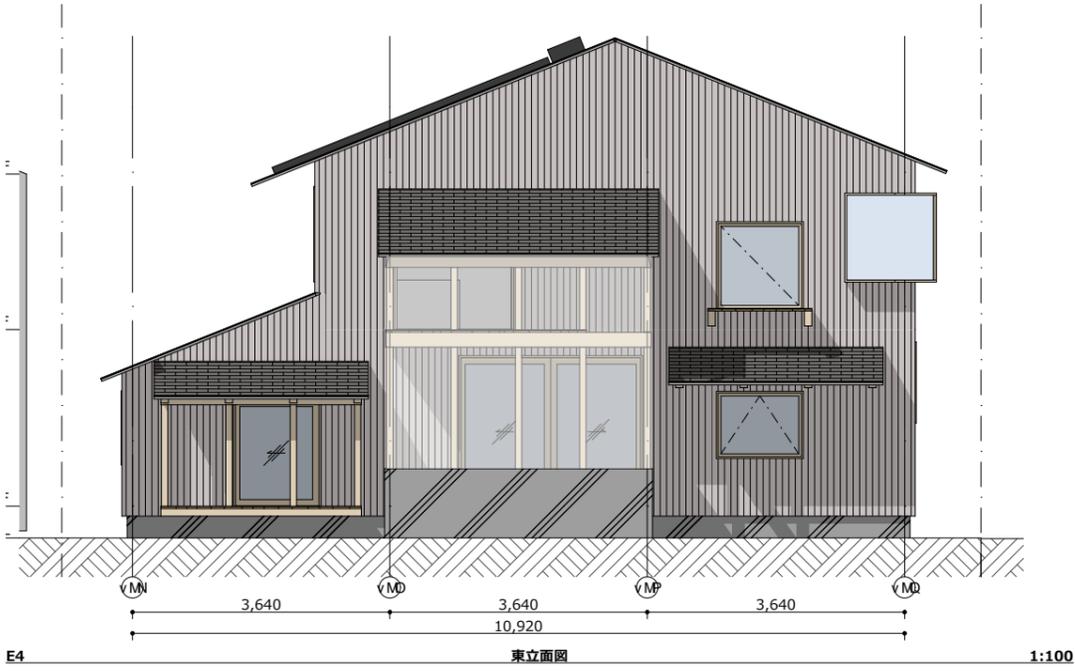
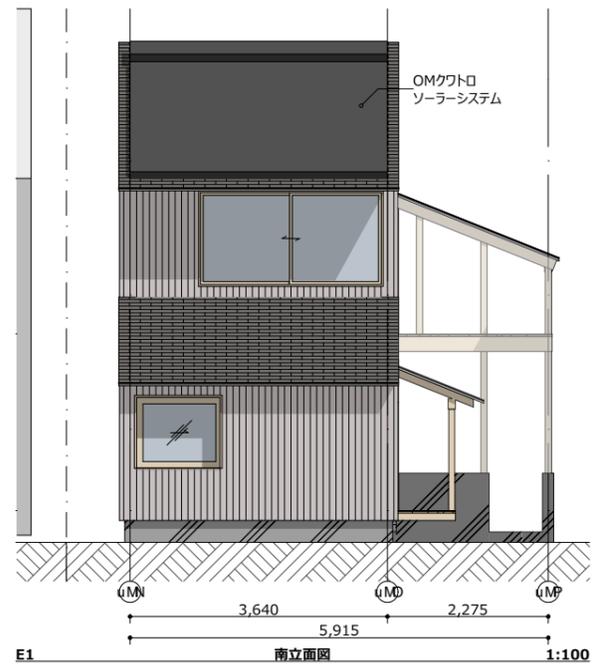
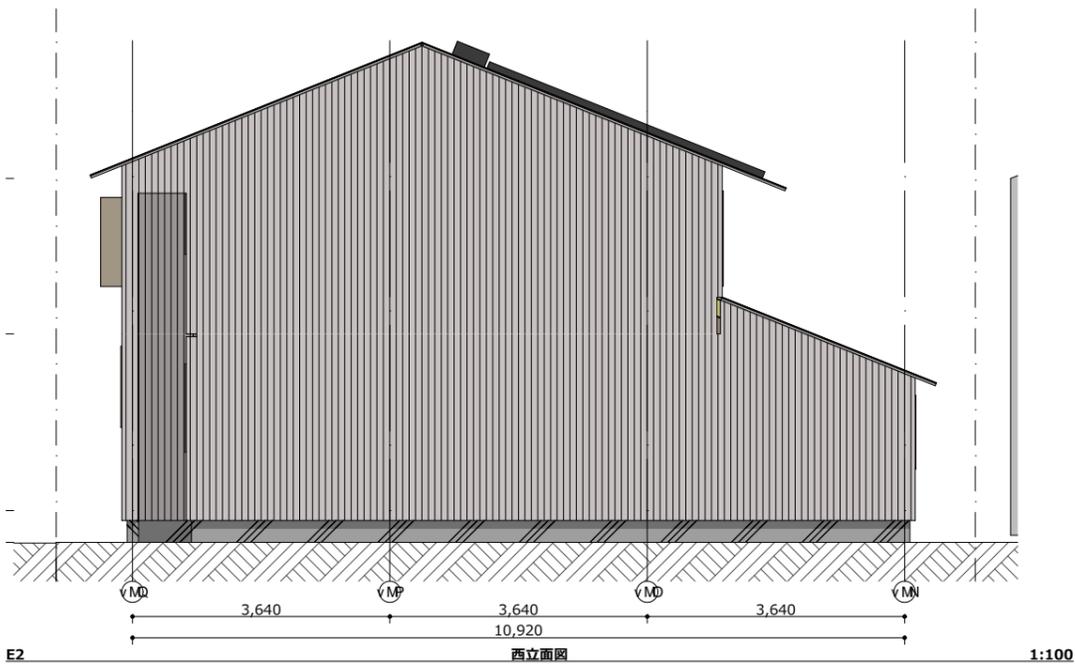
■外界の豊かさ＝太陽の恵みを建築に取り込む
 庭の中央に置かれる風除室やサンルーム、軒下、バルコニー、さらには出窓も、庭や外界の豊かさを様々な方法で建築に取り込む「外皮の外」空間として機能する。



S3 長手断面図 1:100



S1 短手断面図 1:100



階	室名	面積
1F	階段	1.66
	軒下	0.38
	玄関	8.28
	室1	9.94
	室2	9.94
	洗面室	5.80
	風除室	6.21
	浴室	3.31
		45.52 m ²

階	室名	面積	
1F	階段	1.66	
	玄関	8.28	
	室1	9.94	
	室2	9.94	
	洗面室	5.80	
	風除室	6.21	
	浴室	3.31	
		45.14 m ²	
	2F	DK	14.08
		サンルーム	6.21
リビング		7.04	
収納		1.66	
廊下		4.14	
		33.13 m ²	
	78.27 m ²		

【計画規模】
敷地面積(区画B): 7.5m×13.0m=97.5m²
容積率制限: 以下のうち小さい方(200%)
・200%
・前面道路幅員(m)×40%=240%
延床面積制限: 97.5m²×200%=195m²まで(OK)
建ぺい率制限: 80%
建築面積制限: 97.5m²×80%=78.0m²まで(OK)

【断熱仕様】
屋根: HGGW 16K 220mm
壁: 外張 XPS3bA 50mm
+ 充填 HGGW 16K 105mm (付加断熱)
基礎: 外壁沿い立上り XPS3bA 100mm
スラブ面 XPS3bA 100mm
窓: 木製建具または樹脂製建具
ガラス: Low-Eペアガラス
Ua値: 0.38

建築面積表

延床面積表